

県内の景気動向

概況（2025 年 2 月）

景気は、緩やかに拡大している（18 カ月連続）

消費関連では、百貨店売上高は前年を上回る

観光関連では、入域観光客数は前年を上回る

消費関連は、底堅い消費マインドと観光需要の継続により、回復の動きが強まっていること、建設関連は、手持ち工事額は高水準で推移しており、回復の動きが強まっていること、観光関連は、プロ野球春季キャンプなどのイベント開催もあり好調に推移し、拡大の動きが強まっていること、総じて県内景気は緩やかに拡大している。

先行きは、底堅い消費マインドと観光需要にけん引され、引き続き緩やかに拡大するとみられる。

消費関連

百貨店売上高は、4 カ月連続で前年を上回った。前年のうるう年の反動減はみられたものの、注目度の高い催事企画の実施や、春節に伴う免税売上の増加などが全体を押し上げた。スーパー売上高は、既存店・全店ベースともに 33 カ月連続で前年を上回った。前年のうるう年の反動減や旧正月のズレなどが影響し、全体として増加幅は縮小した。新車販売台数は、一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響がみられた前年同月の反動増などにより 3 カ月連続で前年を上回った。家電大型専門店販売額（1 月）は、18 カ月連続で前年を上回った。

先行きは、引き続き物価の動向に注視する必要があるものの、消費マインドは底堅い推移が見込まれ、回復の動きが強まるとみられる。

建設関連

公共工事請負金額は、県、独立行政法人等・その他は増加したが、国、市町村は減少したことから 4 カ月連続で前年を下回った。建築着工床面積（1 月）は、居住用、非居住用ともに減少したことから 6 カ月連続で前年を下回った。新設住宅着工戸数（1 月）は、持家、貸家、給与、分譲のすべての項目で減少したことから 3 カ月連続で前年を下回った。県内主要建設会社の受注額は、公共工事は減少したが、民間工事は増加したことから 2 カ月連続で前年を上回った。建設資材関連では、セメントは 2 カ月ぶりに前年を下回り、生コンは 3 カ月ぶりに前年を下回った。鋼材売上高は 7 カ月連続で前年を下回り、木材売上高は 6 カ月連続で前年を下回った。

先行きは、建設資材の動向を注視する必要があるものの、手持ち工事額は引き続き高水準での推移が見込まれることなどから回復の動きが強まるとみられる。

観光関連

入域観光客数は、39 カ月連続で前年を上回った。国内客は 8 カ月連続で増加し、外国客は 29 カ月連続で増加した。県内主要ホテルは、稼働率は 11 カ月連続で前年を上回り、売上高、宿泊収入ともに 9 カ月連続で前年を上回った。主要観光施設入場者数は 36 カ月連続で前年を上回った。ゴルフ場は、入場者数は 2 カ月連続で減少し、売上高は 3 カ月連続で前年を上回った。プロ野球春季キャンプなどのイベント開催もあり、引き続き好調に推移した。

先行きは、外国からの訪日意欲が高く外国客の増加が見込まれること、春休みや大型連休により国内客の旅行需要の高まりが予想されることから、拡大の動きが強まるとみられる。

雇用関連

新規求人数（１月）は、前年同月比 3.3%減と 5 カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（１月、季調値）は 1.09 倍で、前月から 0.2 ポイント低下した。完全失業率（１月、季調値）は 2.7%と、前月から 0.3 ポイント低下した。

その他

消費者物価指数は、前年同月比 4.5%の上昇となり、42 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 4.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 3.6%の上昇となった。

倒産件数は 2 件で前年同月から 4 件減少した。負債総額 9,800 万円で、前年同月比 37.6%減となった。

りゅうぎん調査（2025 年 2 月）

増減率（％）

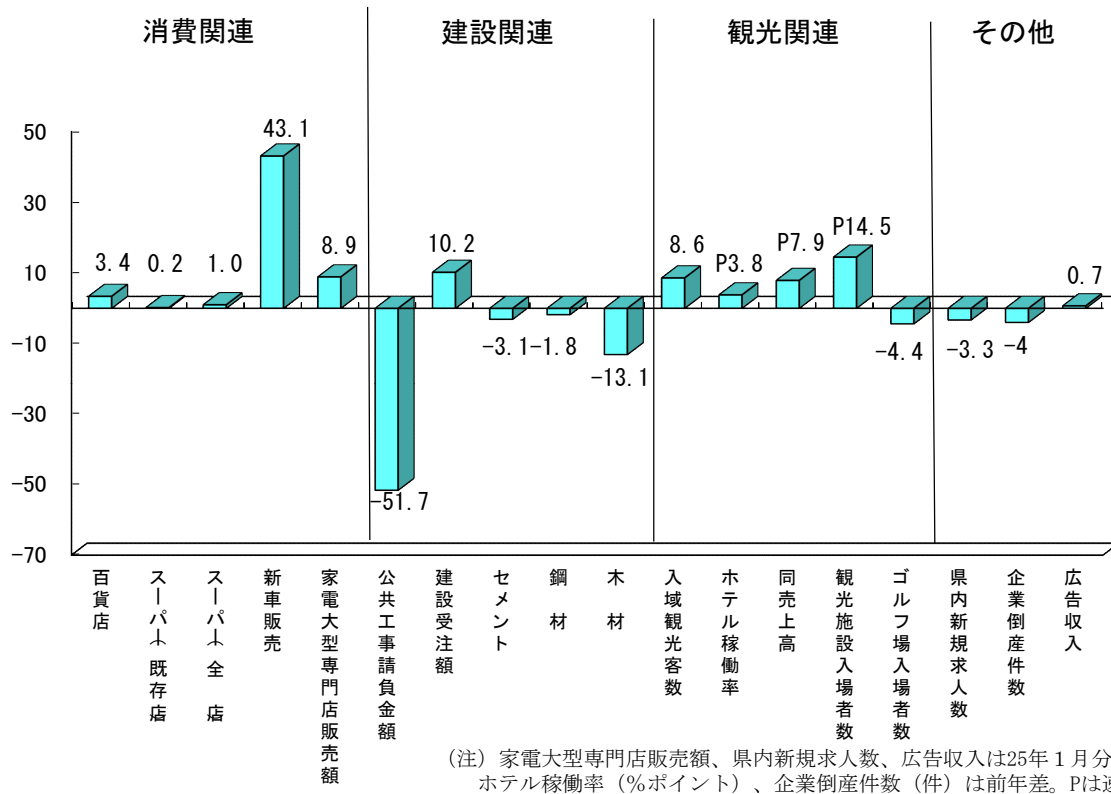
	前年同月比	前年同期比 (2024.12－2025.2)
1. 消費関連		
(1) 百貨店（金額）	3.4	7.4
(2) スーパー（既存店）（金額）	0.2	3.2
(3) スーパー（全店）（金額）	1.0	4.5
(4) 新車販売（台数）	43.1	27.1
(5) 家電大型専門店販売額（金額）	(1月) 8.9	(11-1月) 8.3
2. 建設関連		
(1) 公共工事請負金額（金額）	▲ 51.7	▲ 49.9
(2) 建築着工床面積（m ² ）	(1月) ▲ 7.2	(11-1月) ▲ 16.5
(3) 新設住宅着工戸数（戸）	(1月) ▲ 32.0	(11-1月) ▲ 19.1
(4) 建設受注額（金額）	10.2	▲ 9.9
(5) セメント（トン数）	▲ 3.1	▲ 0.3
(6) 生コン（m ³ ）	▲ 6.2	0.9
(7) 鋼材（金額）	▲ 1.8	▲ 3.7
(8) 木材（金額）	▲ 13.1	▲ 8.9
3. 観光関連		
(1) 入域観光客数（人数）	8.6	18.2
うち外国客数（人数）	20.9	65.3
(2) 県内主要ホテル稼働率	(前年同月差) P 3.8	(前年同期差) P 6.3
	(実数) P 66.9	(実数) P 61.2
(3) " 売上高（金額）	P 7.9	P 16.1
(4) 観光施設入場者数（人数）	P 14.5	P 19.9
(5) ゴルフ場入場者数（人数）	▲ 4.4	▲ 1.4
(6) " 売上高（金額）	2.9	5.8
4. その他		
(1) 県内新規求人数（人数）	(1月) ▲ 3.3	(11-1月) ▲ 4.0
(2) 有効求人倍率（季調値）	(1月) 1.09	(11-1月) 1.11
(3) 消費者物価指数（総合）	4.5	4.6
(4) 企業倒産件数（件数）	(前年同月差) ▲ 4	(前年同期差) ▲ 12
(5) 広告収入（県内マスコミ）（金額）	(1月) 0.7	(11-1月) ▲ 0.3

（注 1）公共工事請負金額は西日本建設業保証株式会社沖縄支店調べ。建築着工床面積、新設住宅着工戸数は国土交通省調べ。県内新規求人数、有効求人倍率は沖縄労働局調べ。入域観光客数、消費者物価指数は沖縄県調べ。

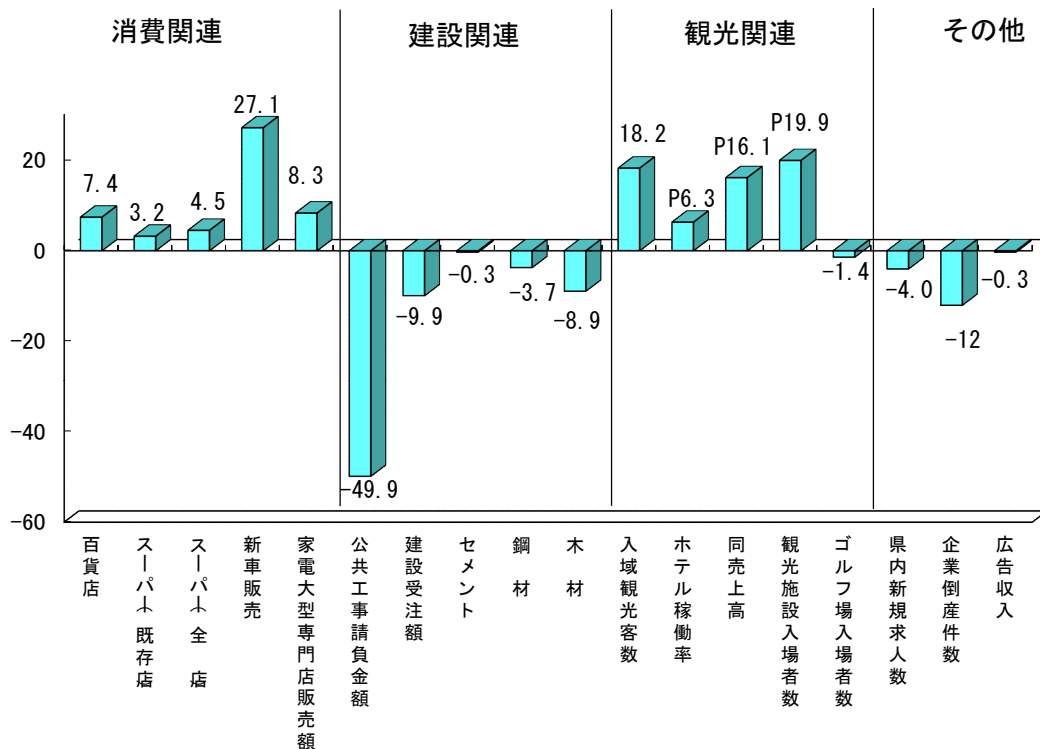
企業倒産件数は東京商工リサーチ沖縄支店調べ。Pは速報値。

（注 2）有効求人倍率（季調値）と県内新規求人数（人数）は、就業地ベース。

項目別グラフ(単月、2025年2月)

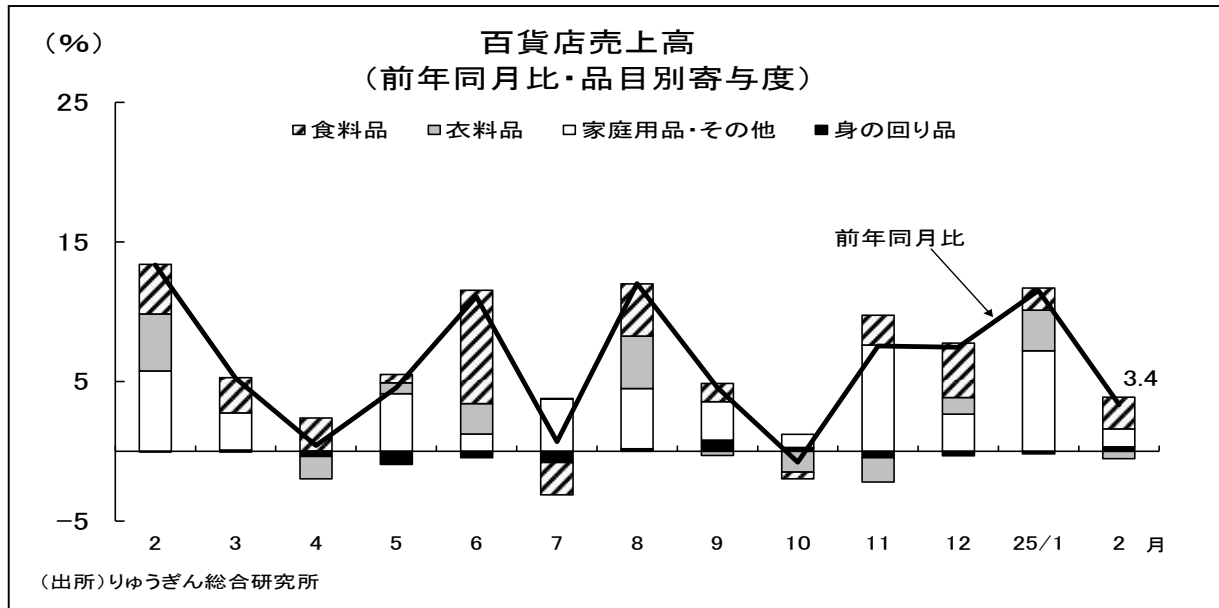


項目別グラフ(3カ月、2024年12月～2025年2月)



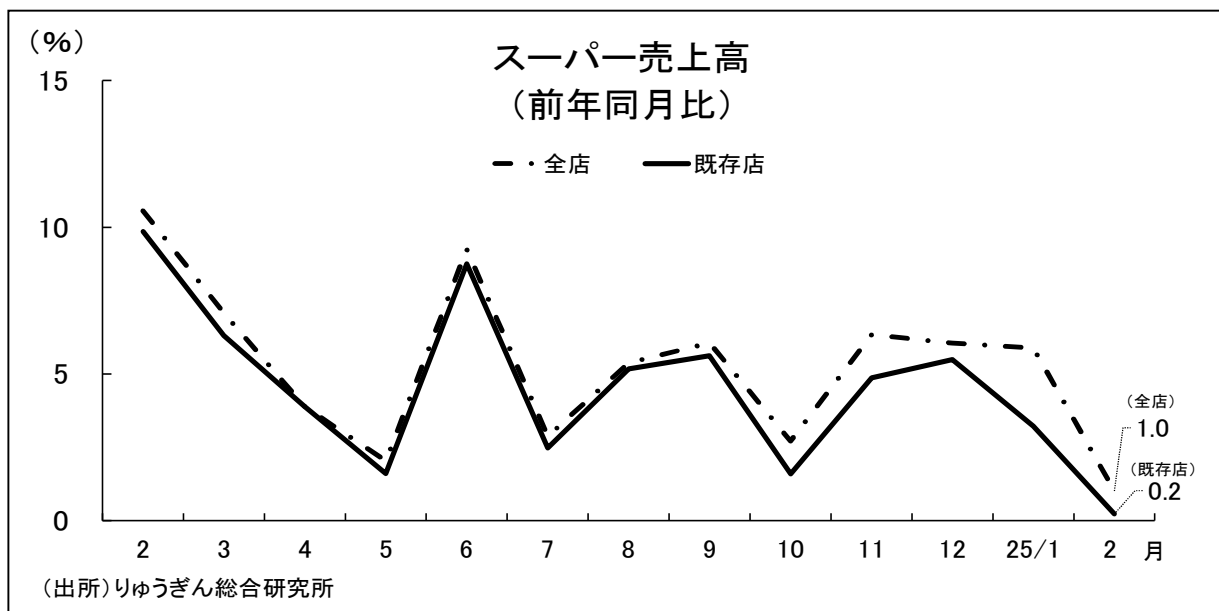
1. 消費関連

(1) 百貨店売上高：4カ月連続で増加



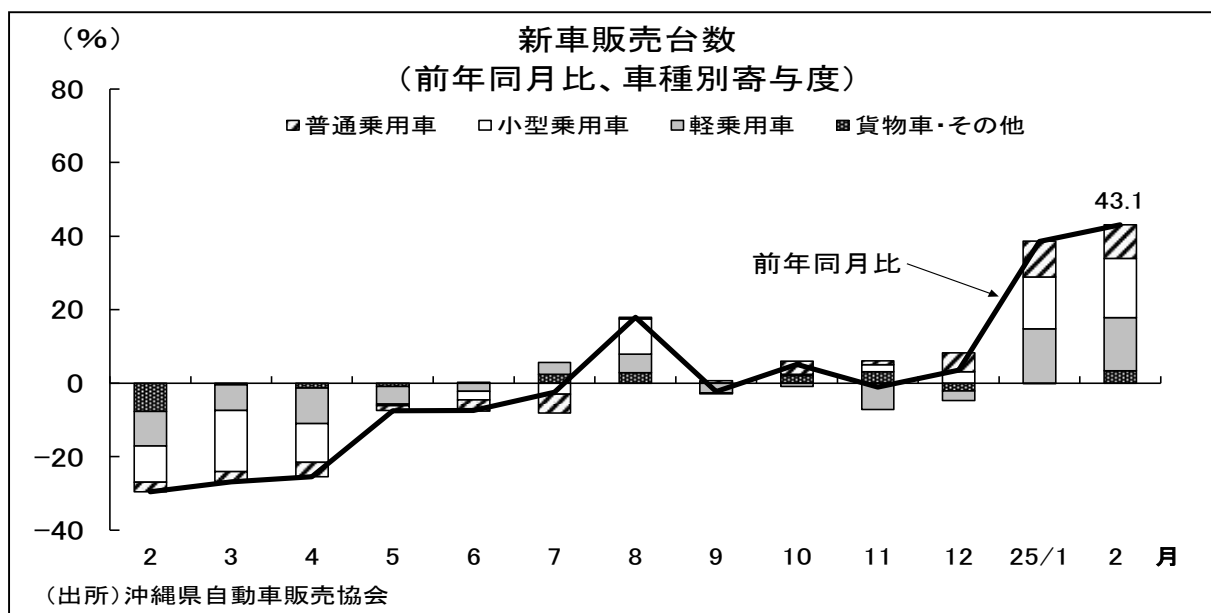
- 百貨店売上高は、前年同月比 3.4%増と 4 カ月連続で前年を上回った。
- 前年のうるう年の反動（営業日数 1 日減）で来店客数、買上点数ともに前年を下回ったものの、注目度の高い催事企画の実施や、春節に伴う免税売上の増加が全体を押し上げた。
- 品目別にみると、食料品が同 6.3%増、家庭用品・その他が同 4.4%増、身の回り品が同 5.7%増、衣料品が同 1.7%減となった。

(2) スーパー売上高：既存店・全店ともに 33 カ月連続で増加



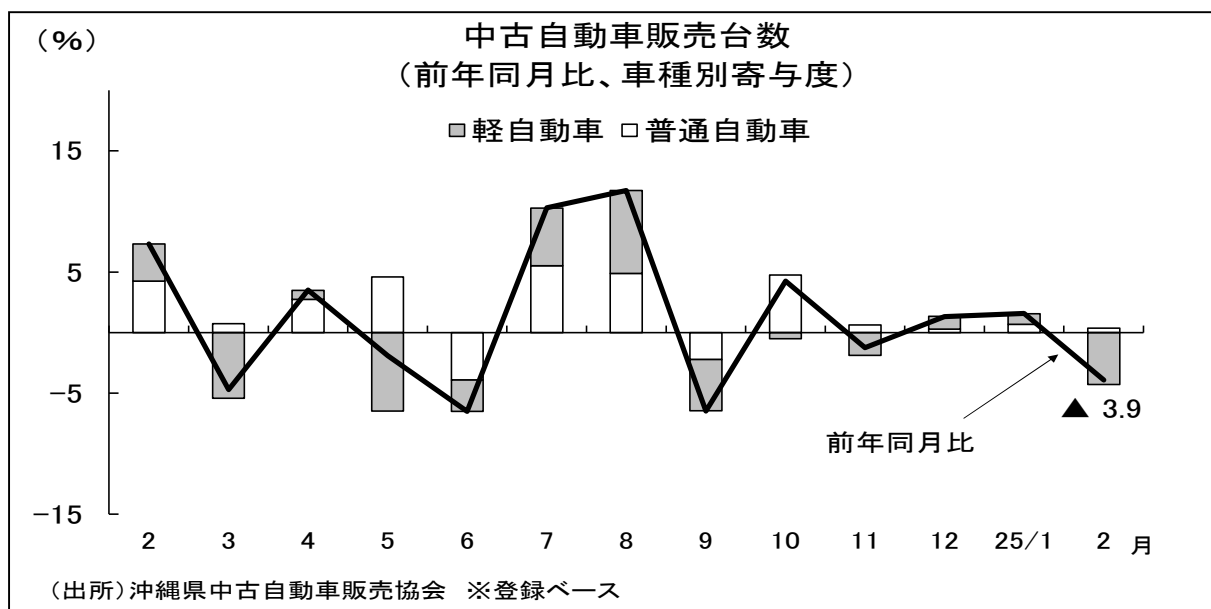
- スーパー売上高は、既存店ベースは前年同月比 0.2%増と 33 カ月連続で前年を上回った。
- 平均気温が低く冬物衣料や寝具など季節商材を中心に好調に推移したものの、前年のうるう年の反動減や旧正月のズレ（2024 年：2/10、2025 年：1/29）などにより食料品が減少したことなどから増加幅は縮小した。
- 品目別にみると、食料品が同 0.4%減、衣料品が同 3.5%増、住居関連が同 2.5%増となった。
- 全店ベースは同 1.0%増と 33 カ月連続で前年を上回った。

(3) 新車販売台数：3カ月連続で増加



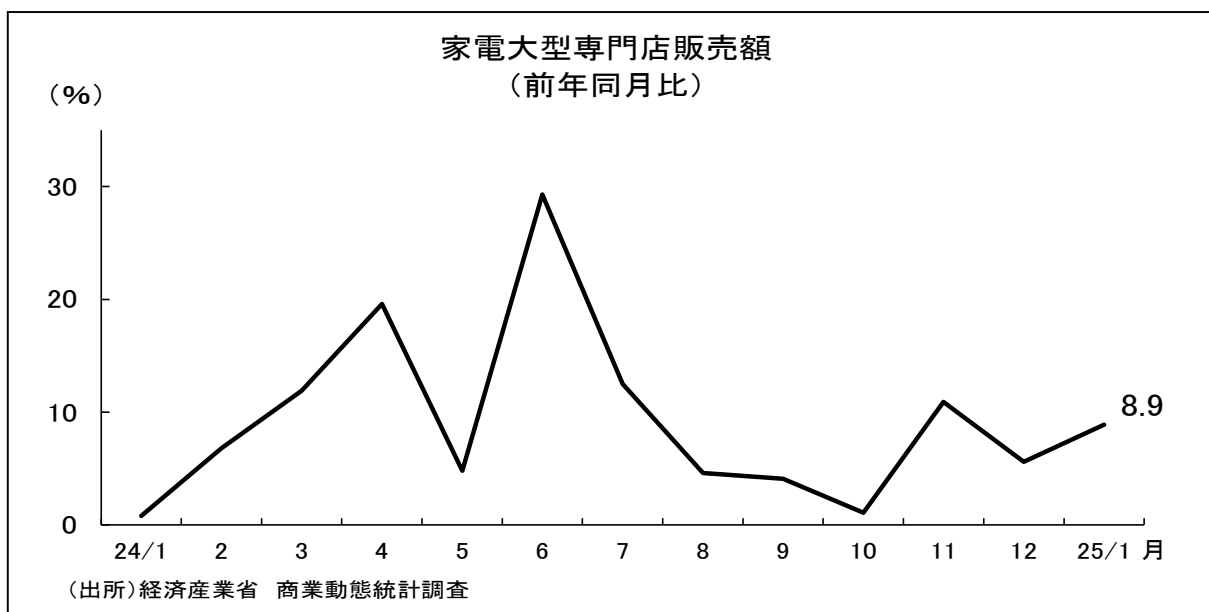
- ・ 新車販売台数は4,168台で前年同月比43.1%増と、3カ月連続で前年を上回った。
- ・ 一部自動車メーカーによる生産・出荷停止の影響が色濃くみられた前年同月の反動増に加え、レンタカー登録台数が増加したことなどから前年を上回った。
- ・ 車種別にみると、普通自動車（登録車）は2,304台（前年同月比48.5%増）で、うち普通乗用車は1,055台（同33.9%増）、小型乗用車は1,067台（同78.4%増）であった。軽自動車（届出車）は1,864台（同36.9%増）で、うち軽乗用車は1,561台（同36.9%増）であった。

(4) 中古自動車販売台数（登録ベース）：3カ月ぶりに減少



- ・ 中古自動車販売台数（普通自動車及び軽自動車の合計、登録ベース）は、1万8,357台で前年同月比3.9%減と3カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 内訳では、普通自動車が7,423台（前年同月比0.9%増）、軽自動車が1万934台（同7.0%減）となった。

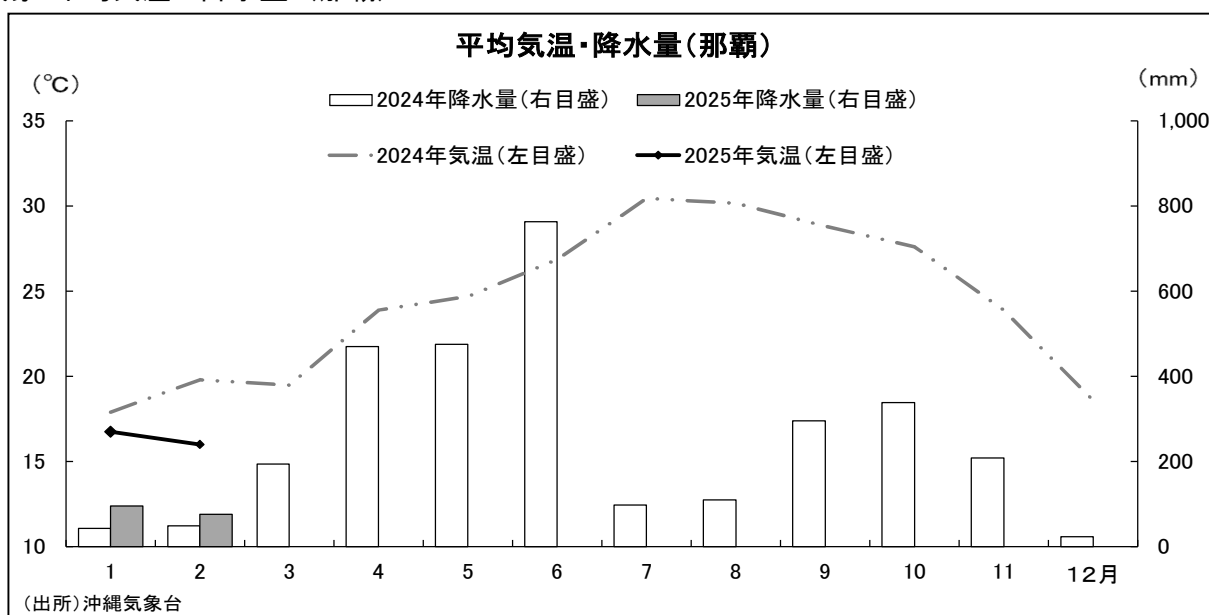
(5) 家電大型専門店販売額：18 カ月連続で増加



- ・ 家電大型専門店販売額（1 月）は、前年同月比 8.9%増と 18 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 値上げによる単価上昇に加え、1 月末で終了となった県の補助事業「おきなわ省エネ家電買換応援キャンペーン」により、省エネ性能の高い高付加価値商材を中心に好調となった。

(参考)

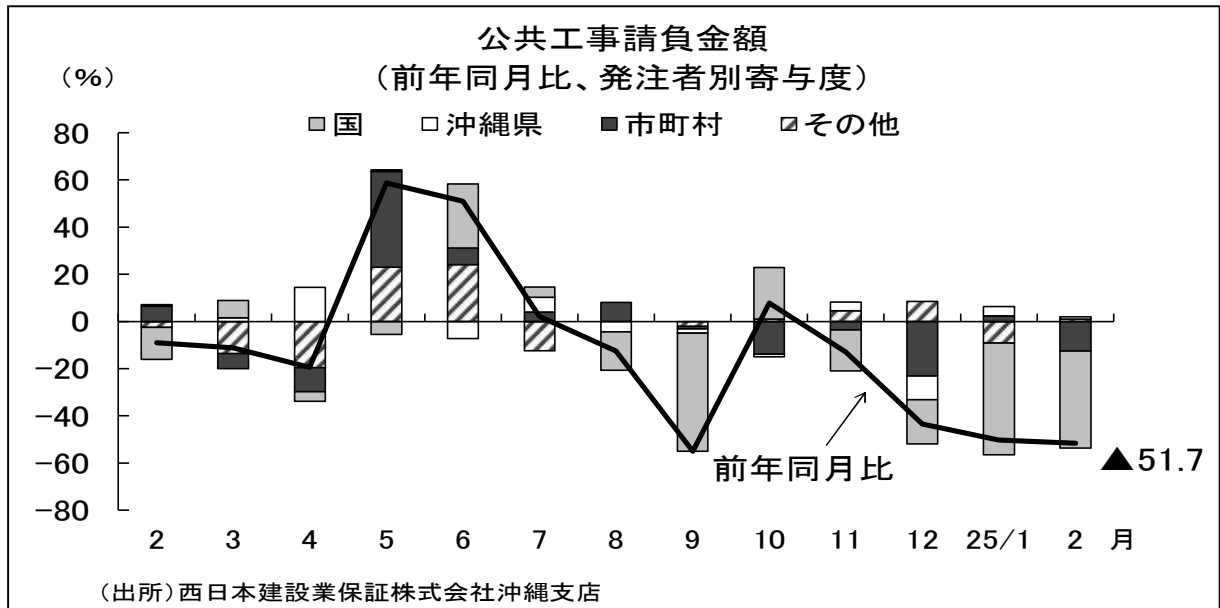
◇ 気象: 平均気温・降水量（那覇）



- ・ 平均気温は 16.0℃で前年同月（19.8℃）より低く、降水量は 76.0mmで前年同月（49.0mm）より多かった。
- ・ 沖縄地方は、中・下旬を中心に高気圧に覆われて晴れる日もあったが、気圧の谷や前線、大陸の高気圧の張り出しに伴う寒気の影響で曇りや雨の日が多く、大雨や荒れた天気となった所もあった。
- ・ 平均気温は平年よりかなり低く、日照時間、降水量は平年より少なかった。

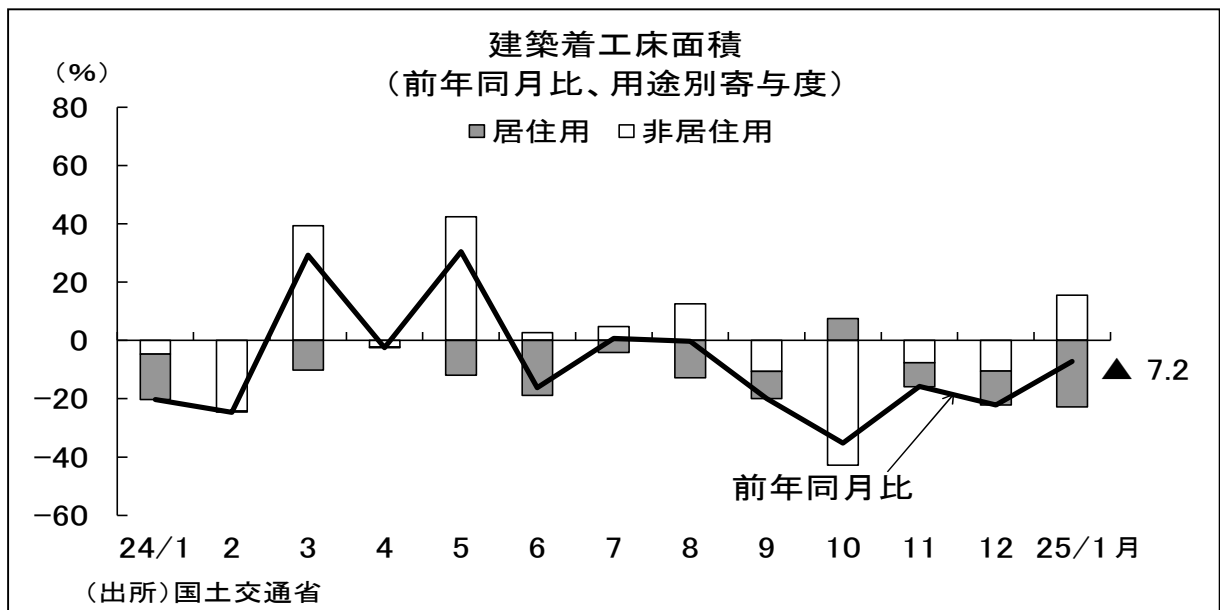
2. 建設関連

(1) 公共工事請負金額：4カ月連続で減少



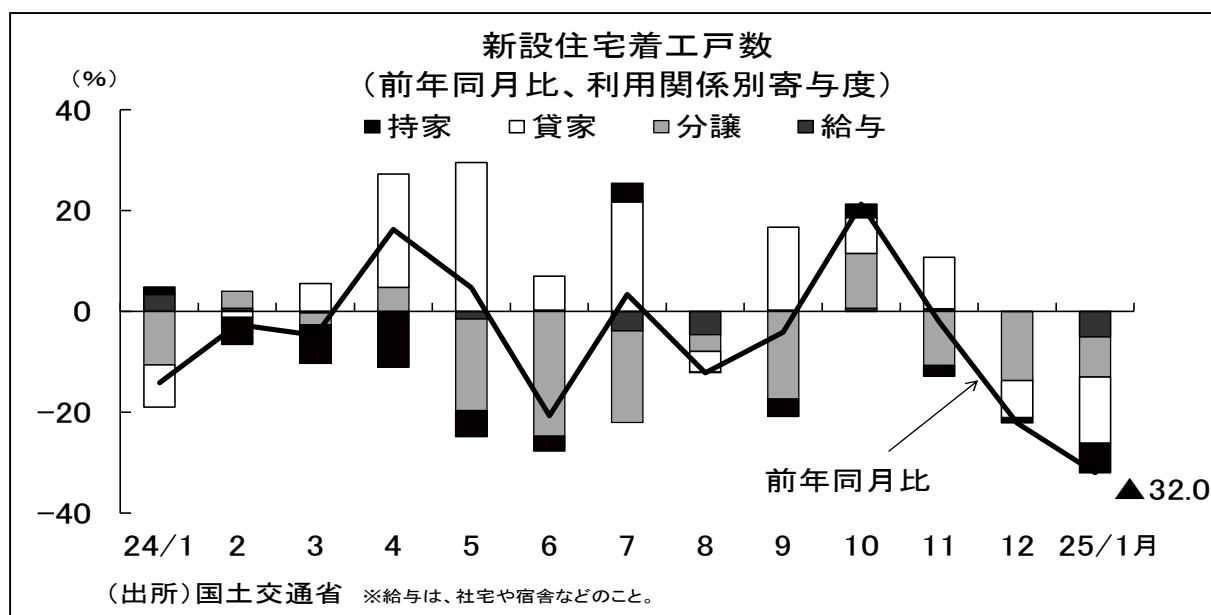
- 公共工事請負金額は、260億62百万円で前年同月比51.7%減となり、4カ月連続で前年を下回った。
- 発注者別では、県は同17.6%増、独立行政法人等・その他は同165.1%増となり、国は同54.2%減、市町村は同68.3%減となった。

(2) 建築着工床面積：6カ月連続で減少



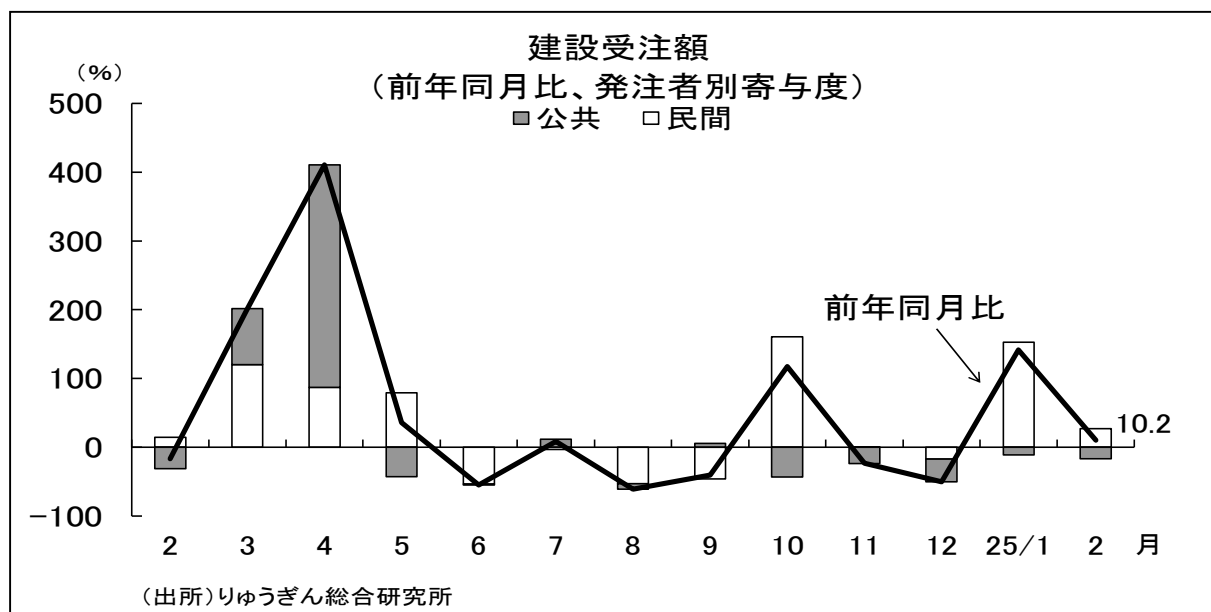
- 建築着工床面積(1月)は7万2,109㎡で前年同月比7.2%減と6カ月連続で前年を下回った。居住用は同29.3%減となり、非居住用は同69.6%増となった。
- 建築着工床面積を用途別(大分類)にみると、居住用では居住専用は減少し、居住産業併用は増加した。非居住用では、飲食店・宿泊業用、その他のサービス業用などが増加し、卸売・小売業用などが減少した。

(3) 新設住宅着工戸数：3カ月連続で減少



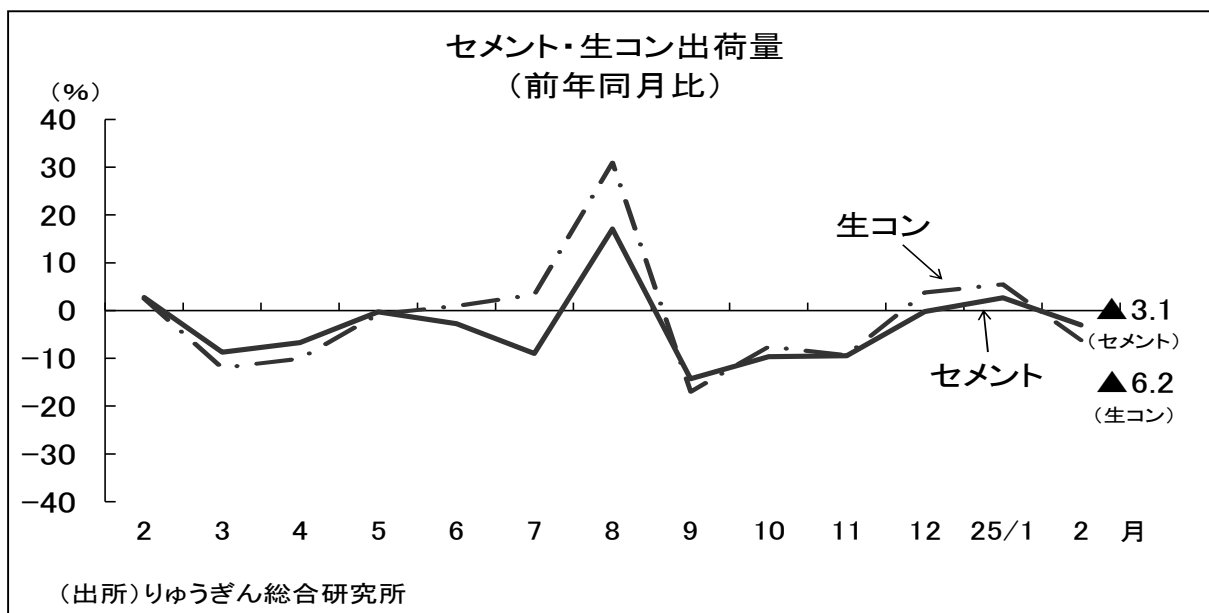
- ・ 新設住宅着工戸数（1月）は522戸で前年同月比32.0%減と3カ月連続で前年を下回った。
- ・ 利用関係別では、持家（142戸）が同24.1%減、貸家（268戸）が同27.4%減、給与（2戸）が95.1%減、分譲（110戸）が同35.7%減となった。

(4) 建設受注額：2カ月連続で増加



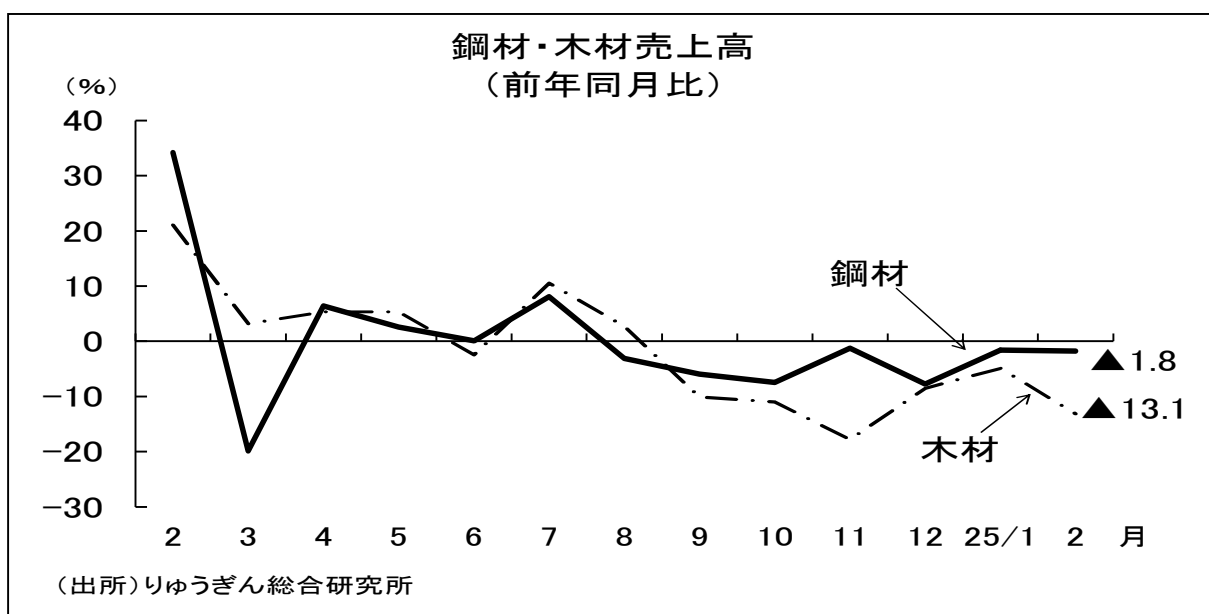
- ・ 建設受注額（調査先建設会社：17社）は前年同月比10.2%増と2カ月連続で前年を上回った。
- ・ 発注者別では、公共工事は同24.0%減と5カ月連続で減少し、民間工事は同85.9%増と2カ月連続で増加した。

(5) セメント・生コン：セメントは2カ月ぶりに減少、生コンは3カ月ぶりに減少



- ・ セメント出荷量は6万355トンとなり、前年同月比3.1%減と2カ月ぶりに前年を下回った。
- ・ 生コン出荷量は9万6,624 m³で6.2%減と3カ月ぶりに前年を下回った。生コン出荷量を出荷先別にみると、公共工事では、海事工事向けなどが増加し、学校関連向け、防衛省向けなどが減少した。民間工事では、ホテル向けなどが増加し、マンション向け、個人住宅向けなどが減少した。

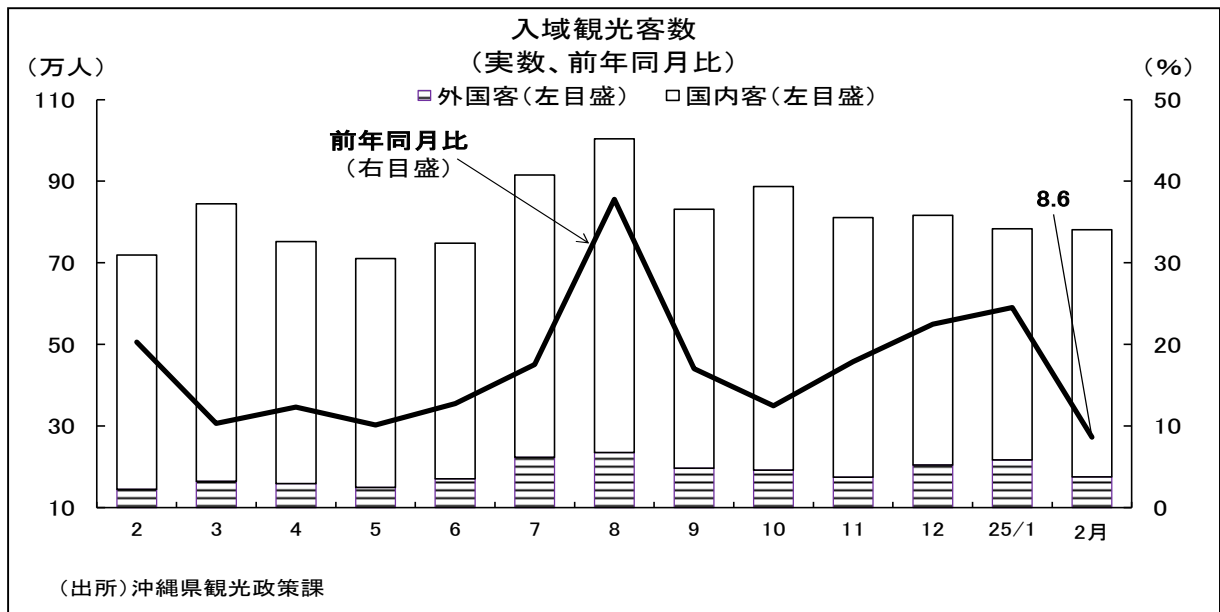
(6) 鋼材・木材：鋼材は7カ月連続で減少、木材は6カ月連続で減少



- ・ 鋼材売上高は、出荷量が減少したこと、鋼材価格が下落したことなどから前年同月比1.8%減と7カ月連続で前年を下回った。
- ・ 木材売上高は、出荷量が減少したこと、木材価格が下落したことなどから同13.1%減と6カ月連続で前年を下回った。

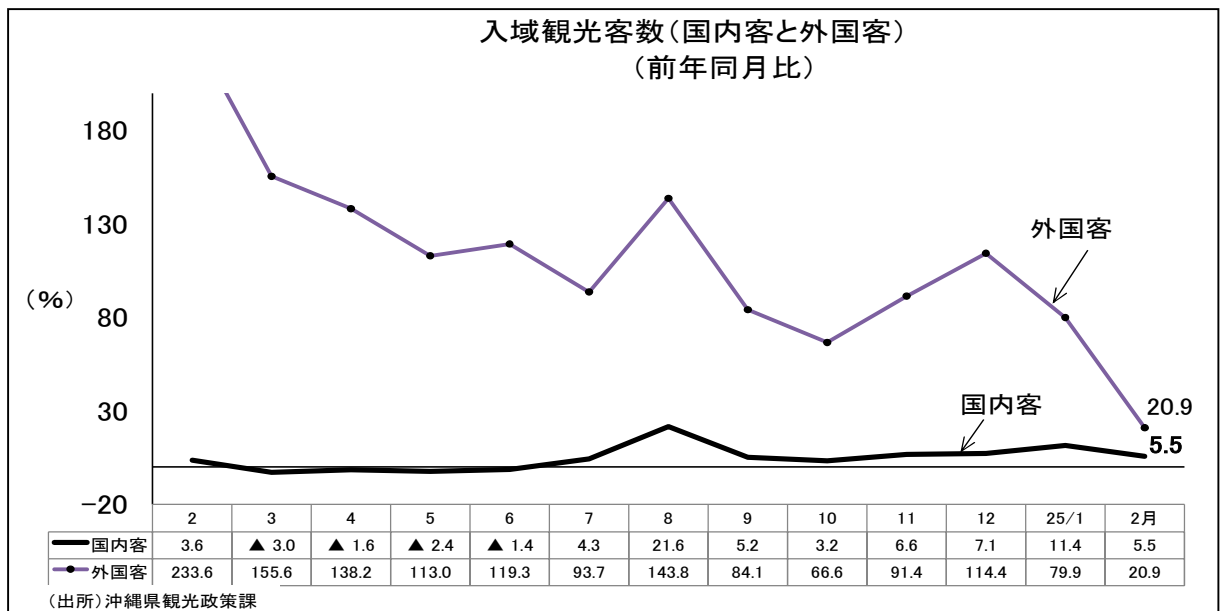
3. 観光関連

(1) 入域観光客数：39 カ月連続で増加



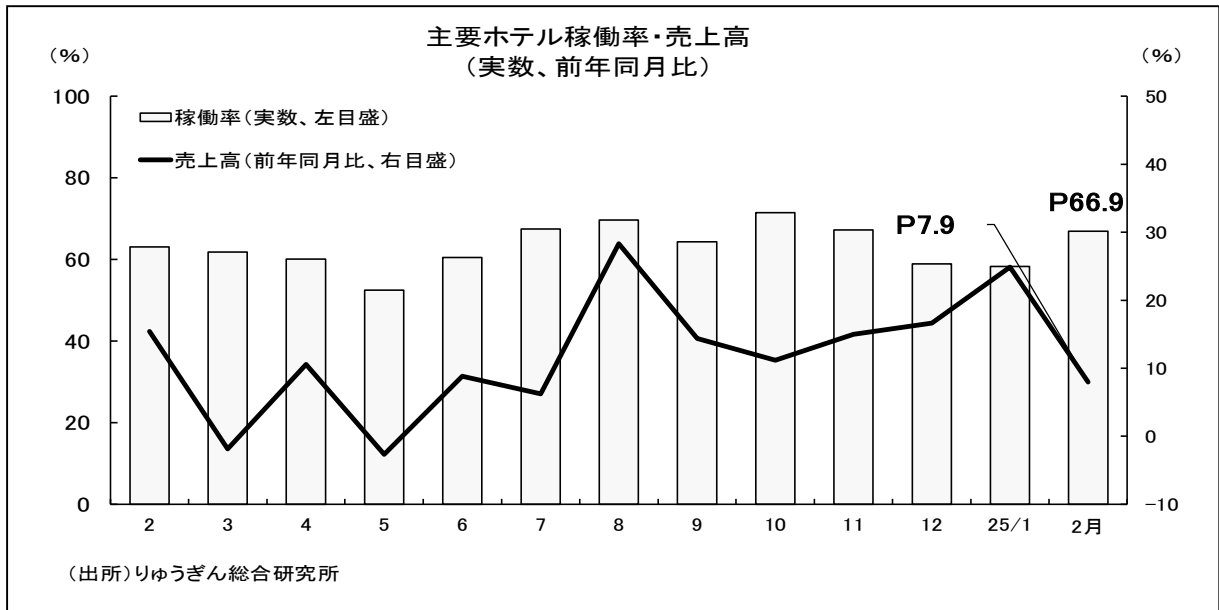
- 入域観光客数は、78 万 1, 300 人（前年同月比 8.6%増）となり、39 カ月連続で前年を上回った。
- 路線別では、空路は 73 万 4, 800 人（同 10.1%増）となり 39 カ月連続で前年を上回った。海路は 4 万 6, 500 人（同 10.6%減）となり 40 カ月ぶりに前年を下回った。

(2) 入域観光客数（国内客、外国客）：国内客は 8 カ月連続で増加、外国客は 29 カ月連続で増加



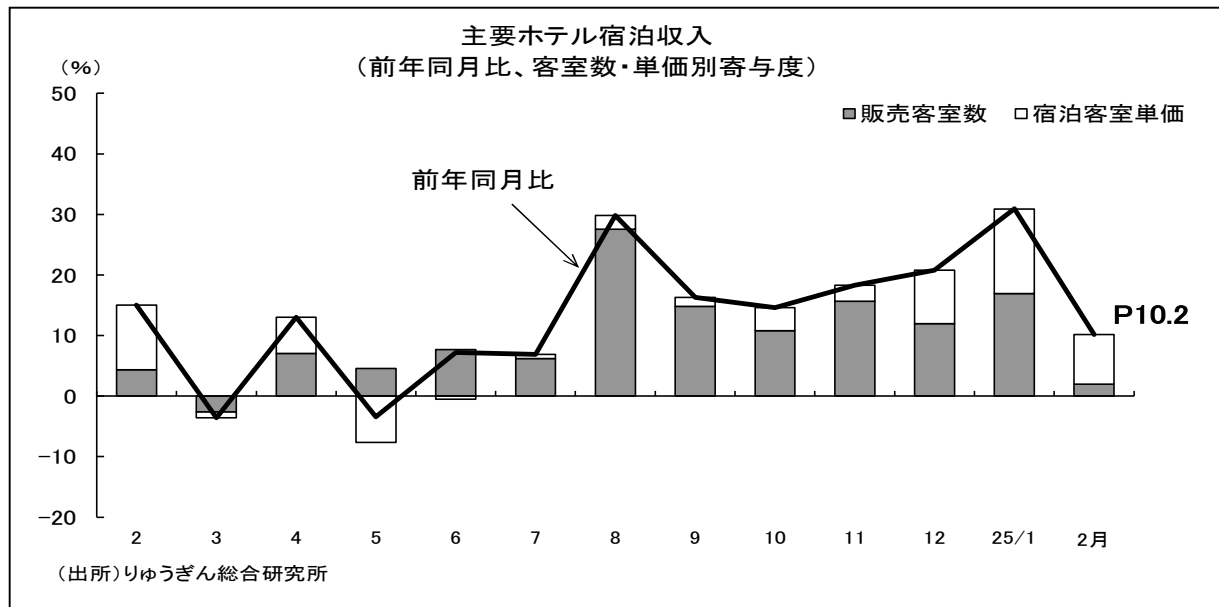
- 国内客は、60 万 6, 200 人（前年同月比 5.5%増）となり、8 カ月連続で前年を上回った。外国客は 17 万 5, 100 人（同 20.9%増）となり、29 カ月連続で増加した。
- プロ野球キャンプなどのイベントの開催や、地方発着チャーター便の運航や募集型団体旅行があり、好調な推移となった。

(3) 主要ホテル稼働率・売上高：稼働率は11カ月連続で上昇、売上高は9カ月連続で増加



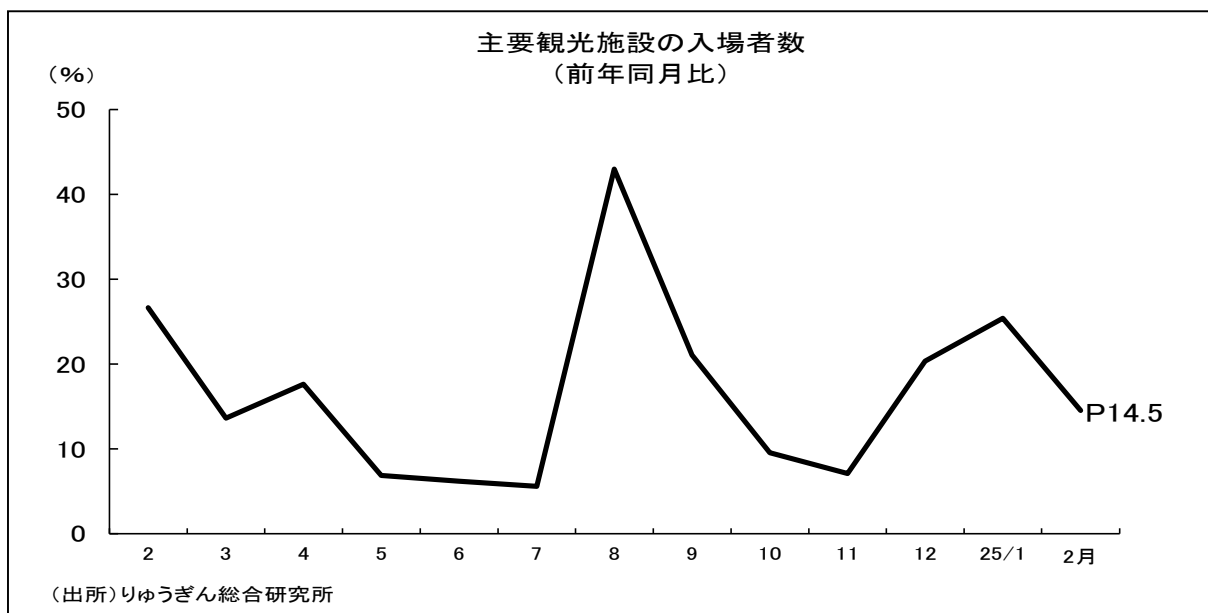
- ・ 主要ホテルの客室稼働率（速報値）は66.9%と前年同月差3.8%ポイント上昇し11カ月連続で前年を上回り、売上高は前年同月比7.9%増となり、9カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルの客室稼働率は78.9%と同6.9%ポイント上昇し、14カ月連続で前年を上回り、売上高は同15.8%増と15カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテルの客室稼働率（速報値）は62.4%と同2.7%ポイント上昇し10カ月連続で前年を上回り、売上高は同5.8%増と8カ月連続で前年を上回った。

(4) 主要ホテル宿泊収入：9カ月連続で増加



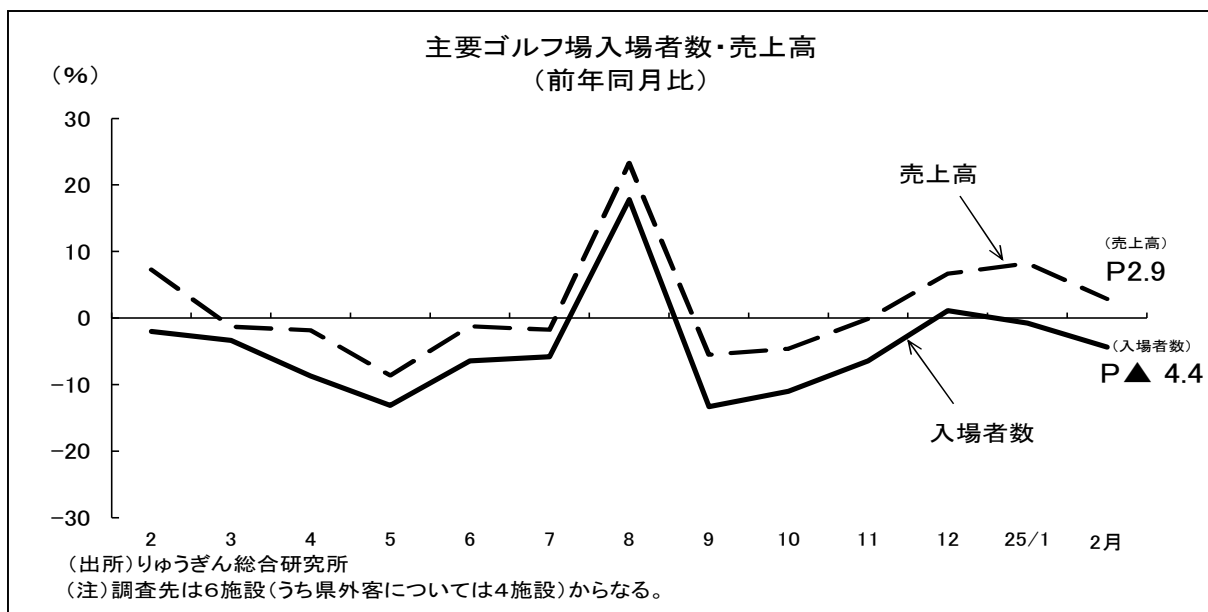
- ・ 主要ホテルの売上高のうち宿泊収入（速報値）は、販売客室数（数量要因）が増加、宿泊客室単価（価格要因）も上昇し、前年同月比10.2%増と9カ月連続で前年を上回った。
- ・ 那覇市内ホテルは、販売客室数が増加、宿泊客室単価も上昇し、同21.4%増となり15カ月連続で前年を上回った。
- ・ リゾート型ホテル（速報値）は、販売客室数が増加、宿泊単価も上昇し、同7.0%増となり9カ月連続で前年を上回った。

(5) 主要観光施設の入場者数：36 カ月連続で増加



- ・ 主要観光施設の入場者数（速報値）は、前年同月比 14.5%増と 36 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 個人・グループ旅行、一般団体客や修学旅行、クルーズ客等の来訪が増え、好調に推移した。

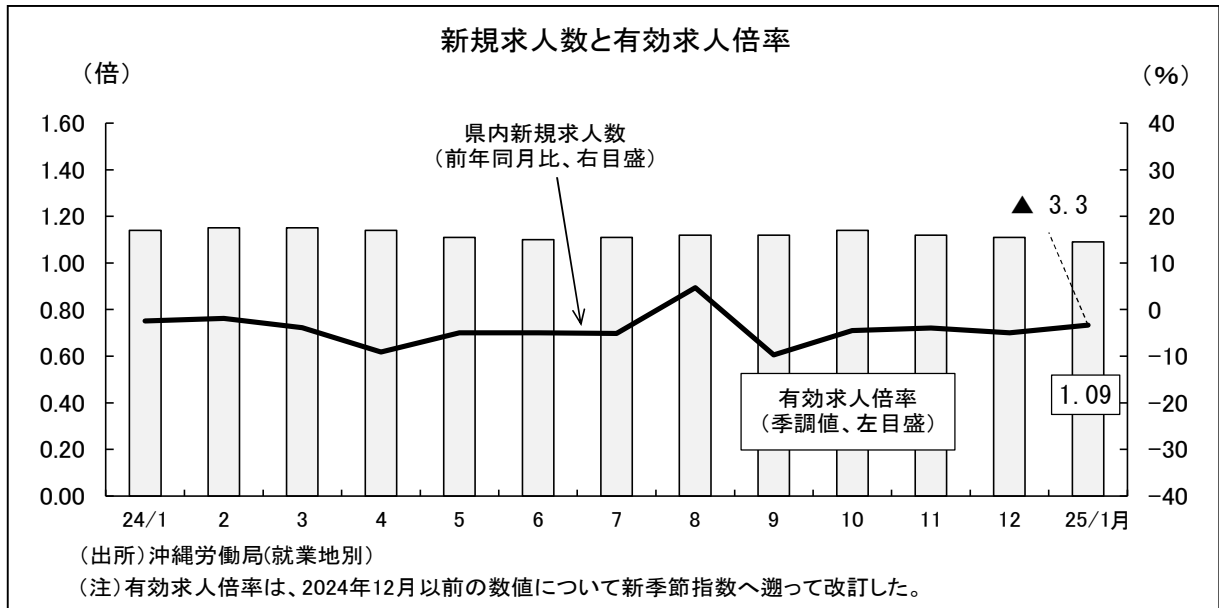
(6) 主要ゴルフ場入場者数・売上高：入場者数は2 カ月連続で減少、売上高は3 カ月連続増加



- ・ 主要ゴルフ場の入場者数は、前年同月比 4.4%減と 2 カ月連続で前年を下回った。県内客は 6 カ月連続で前年を下回り、県外客は 4 カ月ぶりに前年を下回った。売上高は同 2.9%増と 3 カ月連続で前年を上回った。
- ・ 入場者は前年のうるう年の反動減があったが、ゴルフシーズンにより単価の高い県外客と外国客の増加が顕著となり、売上向上に寄与した。

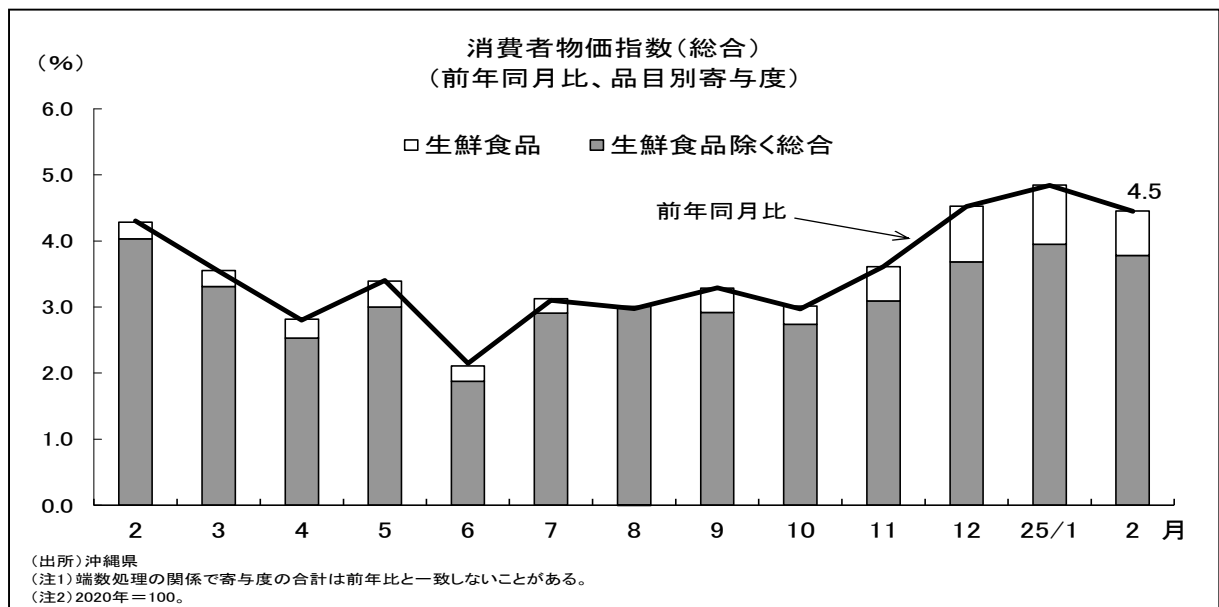
4. その他

(1) 雇用関連（再掲）：新規求人数は減少、有効求人倍率（季調値）は低下



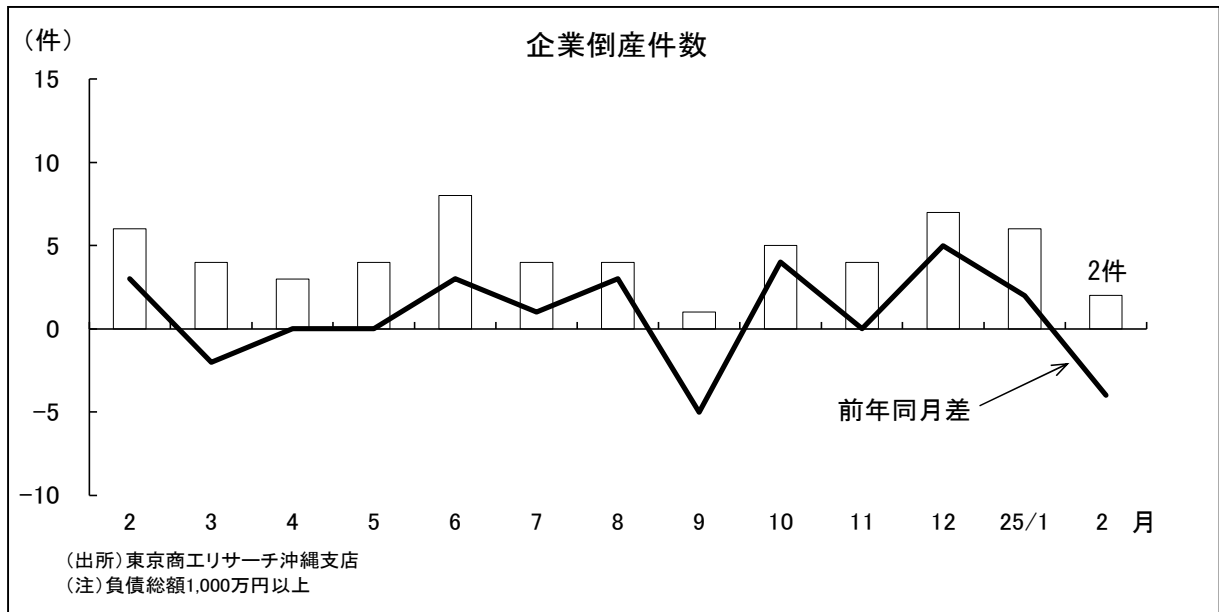
- 新規求人数（1月）は、前年同月比 3.3%減と5カ月連続で前年を下回った。産業別では、宿泊業・飲食サービス業、サービス業（他に分類されないもの）などで減少した。有効求人倍率（1月、季調値）は1.09倍で、前月から0.2ポイント低下した。
- 労働力人口（1月）は、80万人で前年同月比0.5%増となり、就業者数は、78万人で同0.6%増となった。完全失業者数は2万人で同9.1%減となり、完全失業率（1月、季調値）は2.7%と、前月から0.3ポイント低下した。

(2) 消費者物価指数：42カ月連続で上昇



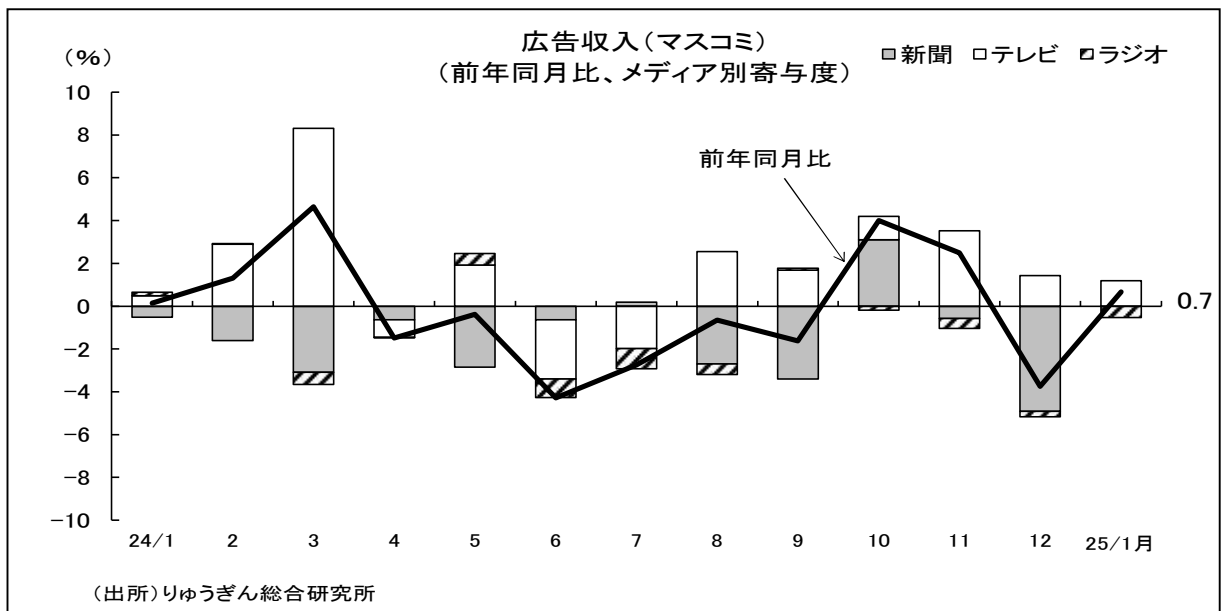
- 消費者物価指数は、前年同月比 4.5%の上昇となり、42 カ月連続で前年を上回った。生鮮食品を除く総合は同 4.0%の上昇となり、生鮮食品及びエネルギーを除く総合は同 3.6%の上昇となった。
- 費目別の動きをみると、食料、光熱・水道などすべての費目で上昇した。

(3) 企業倒産：件数、負債総額ともに減少



- 倒産件数は2件で前年同月から4件減少した。業種別では、農・林・漁・鉱業が1件、サービス業他が1件となった。
- 負債総額は9,800万円で、前年同月比37.6%減となった。

(4) 広告収入（マスコミ）：2カ月ぶりに増加



- 広告収入（マスコミ：1月）は、前年同月比0.7%増と2カ月ぶりに前年を上回った。
- 正月広告のほか、イベント・旅行関連の広告需要の高まりがみられた。

沖縄県内の主要金融経済指標

沖縄県内の主要金融経済指標(その1)

	百貨店 売上高	スーパー 売上高 (既存店)	スーパー 売上高 (全 店)	家電大型 専門店 販売額	新車販売 台 数	中古自動 車販売台 数	公共工事請負額		建築着工床面積	
暦年	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	百万円	前年比	千平米	前年比
2022	5.2	2.0	2.5	1.3	▲ 1.2	▲ 7.9	340,357	▲ 1.2	1,519	▲ 3.3
2023	8.4	5.5	6.1	▲ 0.8	19.2	3.6	425,816	25.1	1,337	▲ 12.0
2024	6.0	4.9	5.4	10.2	▲ 9.3	1.5	405,602	▲ 4.7	1,206	▲ 9.8
2024 1	7.1	3.5	4.0	0.8	▲ 19.7	5.4	42,164	279.4	78	▲ 20.3
2	13.3	9.9	10.6	6.8	▲ 29.5	7.3	53,986	▲ 9.1	75	▲ 24.6
3	5.2	6.3	7.2	11.9	▲ 26.8	▲ 4.7	75,459	▲ 11.1	104	29.2
4	0.4	3.9	3.9	19.6	▲ 25.4	3.5	14,227	▲ 19.5	108	▲ 2.5
5	4.5	1.6	2.0	4.8	▲ 7.5	▲ 1.9	22,412	58.7	150	30.4
6	11.1	8.7	9.3	29.3	▲ 7.4	▲ 6.5	34,088	51.0	134	▲ 16.2
7	0.7	2.5	2.9	12.5	▲ 2.5	10.3	45,309	2.2	99	0.7
8	12.0	5.2	5.4	4.6	17.9	11.7	23,591	▲ 12.5	96	▲ 0.3
9	4.6	5.6	6.1	4.1	▲ 2.2	▲ 6.5	33,001	▲ 55.1	86	▲ 19.9
10	▲ 0.8	1.6	2.7	1.1	5.1	4.2	24,622	7.7	94	▲ 35.3
11	7.5	4.9	6.3	10.9	▲ 1.0	▲ 1.2	26,680	▲ 12.9	75	▲ 15.8
12	7.4	5.5	6.1	5.6	3.5	1.3	10,062	▲ 43.5	108	▲ 22.1
2025 1	11.5	5.3	6.1	8.9	38.5	1.6	20,977	▲ 50.2	72	▲ 7.2
2	3.4	0.2	1.0	-	43.1	▲ 3.9	26,062	▲ 51.7	-	-
出所	りゅうぎん総合研究所調べ				自販協	中古 自販協	西日本建設業保証 沖縄支店		国土交通省	

注) 新車販売台数の出所は沖縄県自動車販売協会、中古自動車販売台数は沖縄県中古自動車販売協会。

	新設住宅着工戸数		建 設 受注額	セメント 出荷数量	生コン 出荷数量	鋼 材 売上高	木 材 売上高	手持ち 工事額	建設関連 DI (単月)	建設関連 DI (3カ月移 動平均)
暦年	戸	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	前年比	指数	指数	指数
2022	9,179	▲ 5.1	21.0	▲ 1.3	0.5	10.3	9.0	-	-	-
2023	10,183	10.9	32.4	0.6	▲ 0.1	14.6	▲ 2.5	-	-	-
2024	9,703	▲ 4.7	▲ 10.4	▲ 4.1	▲ 2.4	0.7	▲ 0.1	-	-	-
2024 1	768	▲ 14.2	▲ 73.8	0.4	▲ 1.5	25.2	7.6	263.7	▲ 7.1	▲ 3.6
2	640	▲ 2.6	▲ 17.0	2.7	2.5	34.2	21.1	261.1	0.0	0.0
3	638	▲ 4.8	201.5	▲ 8.7	▲ 12.0	▲ 19.8	3.2	290.1	▲ 10.7	▲ 6.0
4	852	16.2	410.7	▲ 6.7	▲ 10.1	6.4	5.3	288.0	▲ 3.6	▲ 4.8
5	804	4.7	36.0	▲ 0.3	▲ 0.8	2.6	5.3	290.6	0.0	▲ 4.8
6	962	▲ 20.7	▲ 55.1	▲ 2.7	1.0	0.1	▲ 2.5	281.5	0.0	▲ 1.2
7	955	3.4	8.6	▲ 9.0	3.3	8.1	10.5	277.0	▲ 14.3	▲ 4.8
8	744	▲ 12.2	▲ 61.0	17.0	31.0	▲ 3.1	2.7	300.1	▲ 3.7	▲ 6.0
9	810	▲ 4.1	▲ 40.4	▲ 14.2	▲ 17.0	▲ 5.9	▲ 10.1	305.2	▲ 3.4	▲ 7.1
10	906	21.3	117.1	▲ 9.7	▲ 7.6	▲ 7.5	▲ 11.0	299.2	▲ 3.4	▲ 3.5
11	766	▲ 2.0	▲ 23.2	▲ 9.5	▲ 9.3	▲ 1.3	▲ 17.8	299.9	0.0	▲ 2.3
12	858	▲ 22.1	▲ 50.2	▲ 0.2	3.8	▲ 7.7	▲ 8.5	288.7	0.0	▲ 1.1
2025 1	522	▲ 32.0	141.4	2.6	5.5	▲ 1.6	▲ 4.9	290.5	0.0	0.0
2	-	-	10.2	▲ 3.1	▲ 6.2	▲ 1.8	▲ 13.1	289.7	0.0	0.0
出所	国土交通省		りゅうぎん総合研究所調べ							

注) 手持ち工事額は、2015年平均＝100とする。

沖縄県内の主要金融経済指標(その2)

暦年	入域観光客数		入域観光客数 のうち外国客		ホテル稼働率 (実数)		ホテル売上高 (前年比)		観光施設 入場者数	ゴルフ場 入場者数
	千人	前年比	千人	前年比	市内	リゾート	市内	リゾート	前年比	前年比
2022	5,697.8	88.9	47.7	100.0	46.9	43.4	92.9	104.3	134.1	4.7
2023	8,235.1	44.5	986.3	1,967.7	57.4	56.0	40.8	33.3	63.0	3.3
2024	9,661.5	17.3	2,125.5	115.4	68.7	59.8	24.5	9.3	16.0	▲ 4.9
2024 1	629.1	18.2	120.3	168.5	58.9	46.4	15.9	6.4	25.9	▲ 2.3
2	719.2	20.3	144.8	233.6	72.0	59.8	18.8	14.5	26.6	▲ 2.0
3	845.1	10.3	164.1	155.6	69.7	58.8	10.1	▲ 4.1	13.6	▲ 3.4
4	749.3	11.9	158.9	138.2	63.5	58.4	26.6	8.0	17.6	▲ 8.7
5	707.5	9.7	148.5	91.1	55.5	51.3	17.6	▲ 5.6	6.9	▲ 13.1
6	744.5	12.2	166.9	44.9	64.4	59.0	19.5	7.0	6.2	▲ 6.4
7	912.0	17.1	219.7	90.7	70.5	65.9	26.6	4.0	5.6	▲ 5.8
8	1,003.8	37.8	235.0	143.8	72.7	62.6	39.5	9.6	43.0	17.8
9	831.0	17.0	196.2	84.1	70.3	62.1	35.4	11.4	21.0	▲ 13.3
10	886.7	12.5	192.3	66.6	76.2	69.7	30.2	8.1	9.6	▲ 11.0
11	810.8	17.8	174.0	91.0	77.5	63.4	33.2	11.0	7.1	▲ 6.5
12	809.5	21.4	197.2	107.1	73.0	53.7	20.9	15.5	20.3	1.1
2025 1	783.4	24.5	216.6	79.9	71.3	P52.9	28.4	P23.4	25.4	▲ 0.7
2	781.3	8.6	175.1	20.9	78.9	P62.4	15.8	P5.8	P14.5	▲ 4.4
出所	県文化観光スポーツ部 観光政策課				りゅうぎん総合研究所調べ					

暦年	企業倒 産件数	負債総額		消費者 物価指数	失業率 (季調値)	就業者数	有効求人 倍率 (季調値)	新 規 求人数 (県内)	広告 収入
	件	百万円	前年比	前年比	%	前年比	倍	前年比	前年比
2022	34	6,120	▲ 44.3	2.8	3.3	2.1	0.98	22.5	▲ 2.9
2023	40	3,398	▲ 44.5	3.7	3.3	1.7	1.16	7.5	▲ 2.6
2024	54	5,479	61.2	3.3	3.2	1.2	1.13	▲ 4.2	▲ 0.2
2024 1	4	416	225.0	3.2	2.9	1.2	1.14	▲ 2.4	0.1
2	6	157	▲ 63.5	4.3	2.8	1.7	1.15	▲ 1.8	1.3
3	4	113	▲ 22.1	3.5	3.2	1.1	1.15	▲ 3.9	4.6
4	3	188	▲ 36.1	2.8	3.7	0.8	1.14	▲ 9.1	▲ 2.2
5	4	55	▲ 92.0	3.4	3.3	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 0.4
6	8	1,879	735.1	2.1	3.1	0.1	1.10	▲ 5.0	▲ 4.3
7	4	1,099	647.6	3.1	3.2	2.0	1.11	▲ 5.1	▲ 2.9
8	4	201	905.0	3.0	2.8	3.7	1.12	4.7	▲ 0.7
9	1	56	▲ 92.7	3.3	3.4	1.4	1.12	▲ 9.7	▲ 1.6
10	5	537	168.5	3.0	3.4	▲ 1.3	1.14	▲ 4.5	4.0
11	4	287	20.1	3.6	3.2	1.0	1.12	▲ 4.0	2.5
12	7	491	346.4	4.5	3.1	1.9	1.11	▲ 5.0	▲ 3.7
2025 1	6	336	▲ 19.2	4.8	2.7	0.6	1.09	▲ 3.3	0.7
2	2	98	▲ 37.6	4.5	—	—	—	—	—
出所	東京商工リサーチ沖縄支店			県企画部統計課			沖縄労働局		りゅうぎん 総研調べ

注) 消費者物価指数は、2021年7月より2020年＝100に改定された。

注) 失業率と有効求人倍率は、2024年12月以前の数値について新季節指数へ遡って改訂した。

注) 有効求人倍率(季調値)と新規求人数は、就業地ベース。

沖縄県内の主要金融経済指標(その3)

	銀行券 発行額	銀行券 還収額	銀行券 増減 (▲還収超)	貸出 金利 (地銀3行)	県内金融機関 の預金残高 (末残)		地銀3行預金量 (信託勘定含む末残)		地銀3行融資量 (信託勘定含む末残)	
年度	億円	億円	億円	%	億円	前年比	億円	前年比	億円	前年比
2022FY	2,581	3,453	▲ 873	1.332	60,834	3.6	60,065	3.5	41,959	2.3
2023FY	2,533	3,903	▲ 1,492	1.318	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
2024FY	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2024 1	148	500	▲ 352	1.320	61,654	2.5	60,873	2.4	42,248	1.9
2	161	178	▲ 139	1.317	61,590	2.3	60,821	2.1	42,428	1.9
3	183	362	▲ 179	1.297	62,838	3.3	62,058	3.3	43,558	3.8
4	246	307	▲ 61	1.317	63,353	2.4	62,633	2.4	42,615	2.7
5	166	489	▲ 323	1.321	63,137	2.1	62,331	2.0	42,700	2.8
6	152	316	▲ 164	1.317	63,609	2.5	62,838	2.6	42,858	3.1
7	659	527	132	1.314	63,442	1.8	62,633	1.7	43,166	3.7
8	279	584	▲ 305	1.311	63,652	2.2	62,812	2.1	43,433	4.5
9	201	381	▲ 179	1.316	63,344	1.8	62,606	1.8	43,566	4.2
10	242	492	▲ 250	1.373	62,937	1.7	62,115	1.5	43,558	4.6
11	208	362	▲ 154	1.374	63,526	2.4	62,719	2.4	43,885	5.1
12	476	211	265	1.420	63,599	2.6	62,829	2.7	43,933	4.0
2025 1	161	589	▲ 427	1.423	62,709	1.7	61,867	1.6	44,059	4.3
2	—	—	—	—	—	—	61,886	1.8	44,573	5.1
出所	日本銀行那覇支店				日本銀行本店		沖縄県銀行協会			

注) 銀行券増減は、端数調整により一致しない場合がある。

注) 貸出金利は、暦年ベース。

	沖縄振興開発 金融公庫融資量 (末残)		沖縄県信用保証協会 債務残高(末残)		鉱工業生産指数 (季調値)		通関 輸出	通関 輸入
年度	億円	前年比	億円	前年比	2015年=100	前年比	百万円	百万円
2022FY	10,667	2.3	3,006	0.0	—	—	75,417	302,815
2023FY	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	—	—	52,671	288,310
2024FY	—	—	—	—	—	—	—	—
2024 1	10,203	▲ 4.9	2,936	▲ 2.2	83.7	11.6	2,138	14,788
2	10,211	▲ 4.8	2,924	▲ 2.4	84.2	11.3	1,691	16,725
3	10,197	▲ 4.4	2,919	▲ 2.9	80.7	4.4	16,581	10,902
4	10,144	▲ 4.5	2,885	▲ 3.4	76.5	6.2	4,260	20,379
5	10,079	▲ 4.6	2,856	▲ 4.1	74.4	2.2	2,123	19,958
6	10,018	▲ 4.6	2,841	▲ 4.4	72.5	▲ 0.6	7,384	25,091
7	9,905	▲ 5.4	2,831	▲ 4.7	75.5	7.2	3,042	55,228
8	9,877	▲ 4.0	2,810	▲ 5.2	70.9	3.1	2,076	38,014
9	9,811	▲ 4.2	2,792	▲ 5.7	71.3	▲ 9.4	1,810	12,758
10	9,678	▲ 6.2	2,788	▲ 5.6	74.0	1.5	2,062	14,711
11	9,631	▲ 6.4	2,778	▲ 6.0	69.8	▲ 9.4	1,968	24,723
12	9,600	▲ 6.3	2,761	▲ 6.3	92.8	▲ 0.9	2,040	45,032
2025 1	9,567	▲ 6.2	2,747	▲ 6.4	—	—	1,915	22,405
2	—	—	2,717	▲ 7.1	—	—	11,433	22,700
出所	沖縄振興開発金融 公庫		沖縄県信用保証協会		県企画部統計課		沖縄地区税関	

注) 県内金融機関の預金残高は、19年2月分より日本銀行(本店)ホームページ上で公表している県内預金合計に遡及改訂した。

注) 鉱工業生産指数は暦年ベース。暦年値、前年比は原指数の増減率。2019年4月より2015年=100に改定された。

注) 貿易概況は、暦年ベース。